

渋川市バイオマス活用推進計画進捗状況(令和元年度実績)

■対象バイオマスの利用量・利用率の達成状況

区分及び種別	賦 策 存 定 量 時	利用量				利用率			
		策定時	目標	H30	R1	策定時	目標	H30	R1
(廃棄物系バイオマス)									
①家畜排せつ物	9,171	7,153	8,663	8,553	8,647	78	94	93	94
②下水汚泥	69	62	59	60	58	90	86	87	84
③農集排汚泥	86	49	37	37	37	57	43	43	43
④事業系生ごみ	113	3	10	4	3	3	9	4	3
⑤家庭系生ごみ	209	5	1	1	1	2	0.48	0.48	0.48
⑥動植物性残さ	2,188	1,304	386	327	229	60	27	15	10
⑦紙	4,292	1,056	1,557	731	638	25	18	17	15
⑧家庭系廃食用油	43	4	6	6	6	9	14	14	14
⑨建設発生木材	495	470	527	571	531	95	106	115	107
(未利用系バイオマス)									
⑩農作物非食用部	862	862	642	707	717	100	74	82	83
⑪林地残材	742	588	682	1,260	856	79	92	170	115
合 計	18,270	11,556	12,570	12,257	11,723	63	69	67	64

※賦存量及び利用量は炭素換算後の数値。単位は、ト。また、利用率単位は、%である。

※賦存量は、計画策定時の数値で固定(実績取りまとめの時点で賦存量算出根拠となる数値が公表されていない場合があり、年度を統一的に取り扱うことができないものがあるため)。

※利用率は、本報告書取りまとめ上、賦存量数値を固定化したため、関係課から提出された報告数値とは異なる場合がある。

■基本施策指標の達成状況及び進捗度評価

基本施策	指標				進捗度評価
	指標名	策定時	目標	H30	
② 下水汚泥・農集排汚泥の活用					
汚泥肥料化農集排施設数 (単位:施設)	8	6	6	6	順調に進んでいる
③ 事業系・家庭系生ごみの活用					
生ごみのメタンガス化による電力・熱利用を行う施設 (単位:箇所)	0	1	0	0	遅れている
生ごみ処理容器補助金交付件数(累計) (単位:件)	739	1,098	938	974	概ね進んでいる
④ 事業者から排出される動植物性残さの活用					
動植物性残さを活用している事業者数 (単位:社)	2	4	2	2	遅れている
燃料化の利用量 (単位:トン)	6,000	3,400	3,500	1,500	遅れている
⑤ 紙・廃食用油の活用					
紙の集団回収団体数 (単位:団体)	143	152	145	140	遅れている
⑧ 林地残材の活用					
路網整備(林業専用道) (単位:路線)	1	5	3	3	順調に進んでいる
高性能林業機械の導入支援(累計) (単位:台)	2	5	3	4	順調に進んでいる
⑨ バイオマスを活用する企業の誘致					
バイオマスを活用する企業 (単位:社)	3	5	3	3	遅れている
⑩ 環境学習・環境教育の実施					
バイオマスに関する環境学習の開催数 (単位:回)	1	3	3	1	概ね進んでいる
出前講座の回数 (単位:回)	0	1	0	0	遅れている
⑪ バイオマス活用の広報					
「広報しづかわ」にバイオマスに関する記事掲載数 (単位:回)	0	1	1	1	概ね進んでいる
出前講座の回数(再掲) (単位:回)	0	1	0	0	遅れている